

今週のメニュー

■トピックス

- ◇上田学園コレクション 2019 開催
～産学連携による PVC 製レインブーツが展示～

■随想

- ◇DIY で内窓自作

塩ビ工業・環境協会 岩切 繁樹

■トピックス

- ◇上田学園コレクション 2019 開催
～産学連携による PVC 製レインブーツが展示～

2019年1月19日（土）に大阪市のグランフロント大阪で上田安子服飾専門学校主催の「第142回 上田学園コレクション 2019」が開催されました。今年は「GAME CHANGER—次世代の標準—」をテーマとして、学生創作によるコレクションショー、及び商品企画やファッション雑貨などの課題作品の展示が行われました。全国のファッション専門学校の中でも最大規模のイベントで来場者は3,000名にのぼりました。

2011年から同校と産学協同の取り組みを継続しているVECと [PVCnext](#) は、学生ブランド企画作品製作のため素材提供などの協力をしています。今回、「COMPANY COLLABORATION × GOTHIC & LOLITA COURSE」の展示ブースに、ファッションクリエイター学科 ゴシック&ロリータ専攻の学生とPVCnext会員の [SUNBOOT/サンブーツ](#)（森川ゴム工業所）が連携して制作したオシャレでかわいいレインブーツが展示されていました。ゴシック、ロリータ的感性のデザインと射出成形によるブーツ加工技術がコラボして、PVCの透明性の特性を活かし鮮やかさや華やかさなど表現に富んだ作品が揃っていて、多くの来場者の目を引いていました。



レインブーツ展示の様子



展示作品

PVCnext は、西日本プラスチック製品加工協同組合のサポートを受けて、若手経営情報交換の会として西日本地区のビニール製品加工に関わる企業・個人が集まり発足した組織です。

今回のレインブーツの制作に協力された SUNBOOT/サンブート社は PVC 製品の企画開発及び販売会社として 2006 年に設立し、インジェクション成形技術を活かしてこれまで様々な商品を手掛けてきています。2012 年の PVC Design Award において同社の「染めを履く」（染色機能を利用した PVC 製履物）が優秀賞を受賞しています。

今回のコレクションショーを通して PVC の持つ機能性とデザイナーの創作力が連携することによって PVC の可能性に広がりがあることを実感しました。これからも産学連携の展開に期待しています。

■ 随想

◇DIY で内窓自作

塩ビ工業・環境協会 岩切 繁樹

塩ビ工業・環境協会に籍を置きながら、樹脂窓を使っていない家に住んでいるというのは、いわゆる「あるある」ネタでしょうか。

私の自宅は築 16 年の戸建て（建売）ですが、購入した時は「樹脂窓」という言葉は聞いたこともありませんでした。断熱材にかかわる仕事もしていたことがあるので、家（壁）の断熱性能は重要という概念はあったものの、「窓（開口部）の断熱性能も重要」という知識はありませんでした。自宅の窓は普通のアルミサッシで、しかもペアガラス仕様です。窓の断熱はこれで十分なのだろうと当時は考えておりました。ところが、当協会です仕事を始めて 3 年。これまでに樹脂窓の情報は、どんどん蓄積されてきて、窓などの開口部から半分程度の熱が逃げてしまうということも学びました。

しかしながら、いくら樹脂窓の断熱性能を認識していても、特に不都合のない自宅の既存の窓（しかもペアガラス仕様！）を丸ごと樹脂窓へ交換することは、流石にモッタイナイ感が半端ありません。そんな人のために、「内窓」があります。が、これにしてもサブライヤー側は、古い単板ガラス仕様の金属サッシへ取り付けすることを想定しているようです。つまり、「断熱性能＝複層ガラス＋樹脂枠」をアピールしているのです。ということは、自分の家へのアピールポイントは、既に複層ガラスは使われているので樹脂枠のみとなって、「本当に効果があるのか？」と不安な思いにかられることになるわけです。

そうこうして内窓導入に踏み切れないところに、PVC フレーム製内窓（ガラス部分はポリカーボネート製中空パネル）が DIY で手軽に自作することができるということを知りました。私は DIY は嫌いではないですが、趣味というほどでもないレベルです。失敗しても嫌だし、掃き出し窓などの大きな窓は、さすがに DIY では無理だろう、などとあくまでも後ろ向きな理由付けをしておりまして、手軽な DIY でもなかなか踏み切ることができませんでした。

それとは別にお風呂場の話。自宅はユニットバスなのですが、冬場はかなり寒く感じます。湯船に浸かっている、バスタブに肌が接触する首や肩の辺りが冷たくなることが気になっていました。「これは絶対バスタブの裏に断熱材が貼りつけられていないからだ！」と思い、ハウスメーカーに問い合わせてみましたが、「断熱フォームを吹き付けてあります」とのこと。「それならどうしてこんなに冷たくなるの?!」と、納得できませんでした。しかし、ここで初めて「ダメもと」で風呂場の窓（単板型ガラス仕様のアルミサッシ）に DIY で内窓を取り付けてみよう、と思い立ちました。ここなら失敗しても費用的ダメージは最小限に抑えられる、という理由です。

それからは、近くのホームセンターでポリカーボネート中空パネルを購入し、指定寸法通りに裁断してもらい、PVC 製フレームも買い込み（総額 1 万円程度）、足掛け二日でお風呂場に DIY 樹脂内窓を設置しました。出来栄も、「近くで見なければ OK」、という家族の評価でした。それで大事なのは「お風呂場の冷え」ですが、DIY 樹脂内窓の効果はバッチリでした。冬場のお風呂場そのものの温度低下は、気にすれば「あれっ、ちょっと良くなったかな？」という程度でしたが、湯船に浸かった時の肩と背中の中のはかたさは感じなくなりました。あとから学習したのですが、これは「コールドドラフト（下降冷気）」という現象を内窓が押さえてくれたからだと思われます。それまでバスタブが冷たくなるのはバスタブ自体の保温性の問題だと思っていましたが、そうではなく、窓からのコールドドラフトのせいだったのです。



築 16 年ユニットバス内窓取り付け前



DIY 内窓取り付け後！

以上が昨年の冬の出来事です。樹脂窓の有効性が実感できたので、あとは寝室・居間などへの本物(?)の内窓を購入・設置するだけとなりました。幸いなことに、内窓そのものの市場価格もこなれてきているし、市の断熱リフォーム制度の対象となることも確認できました。あとは我が家の大蔵大臣の承認を得るだけですが、これが最大の壁になると思われます。(笑)

追記1：今シーズンは、築30年の兄妹の家のお風呂場の窓にも取り付けました。もう作業は慣れたもので、加工に2時間、取り付けに1時間という感じでした。



築30年出窓タイプ：寒さ対策でPVCカーテンの後ろにアルミ製断熱パネルを置いています



DIY内窓設置後！
見た目もスッキリ！

追記2：素材は不明ですが、最近はホテルにも後付けの内窓がつけられているようです。↓(先日泊まったホテルは、「窓がない!」と思ったら樹脂製の内窓がありました。)



⇒ [バックナンバー](#)

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)

※本メールマガジン上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。



■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL info@vec.gr.jp
